

# 三菱UFJ国際投信直販サービス“mattoco”におけるお客さまの損益状況および商品の運用状況について

2022年3月時点

## はじめに

三菱UFJ国際投信の直販サービス“mattoco”は、サービスの提供開始（2019年3月1日）から約3年が経過しました。お客さまの運用成果の「見える化」を目的として以下の実績を公表いたします。なお、金融庁が比較可能な共通KPIとして示している指標とは異なる点にご留意ください。

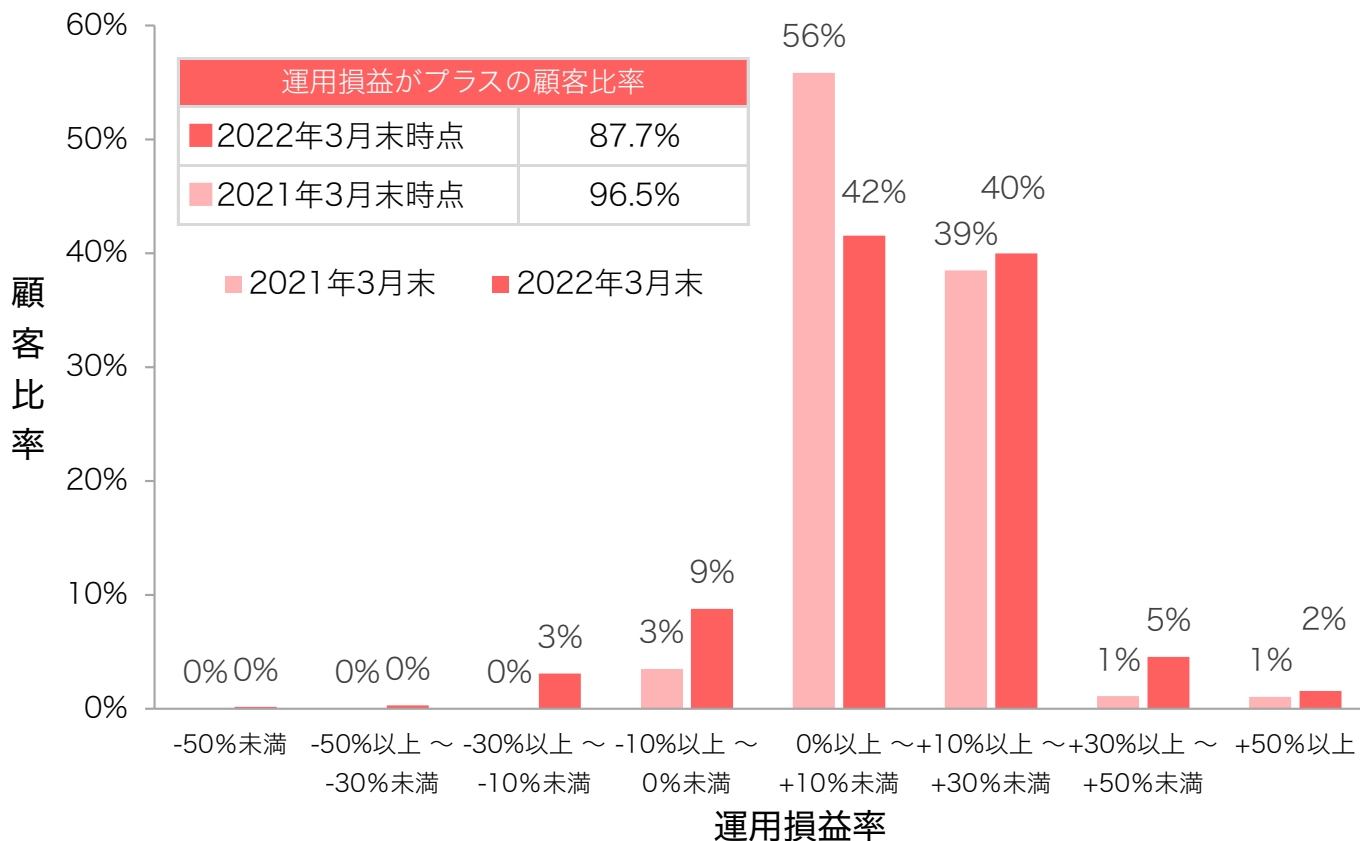
- ・投資信託の運用損益別顧客比率
- ・投資信託預り残高上位銘柄の過去3年間のコスト・リターン\*
- ・投資信託預り残高上位銘柄の過去3年間のリスク・リターン\*
- ・投資信託預り残高上位20銘柄の一覧

\*当サービスの提供開始（2019年3月1日）から経過年数が3年以上4年未満のため、該当データにおいては設定後3年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄ごとおよび預り資産残高加重平均の過去3年の年平均コスト、リスク、リターンで算出したものを公表しています。

## 投資信託の運用損益別顧客比率

2022年3月末基準、2021年3月末基準における運用損益別で見たお客さまの割合を示しています。2022年3月末基準では、前年度と比較し、運用損益がプラスのお客さまの割合は、8.8%ポイント（96.5%→87.7%）減少したものの、お客さまの運用損益の中央値は、1.0%ポイント（8.2%→9.2%）上昇しました。

投資信託の運用損益別顧客比率



※投資信託の運用損益は、（基準日時点の評価金額+累計受取分配金（税引後）+累計売付金額-累計買付金額（含む消費税込の販売手数料））/基準日時点の評価金額で算出。

※mattocoでは、全ファンド販売手数料はございません。また、全ファンド基準日時点での分配金の支払い実績はありません。

※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。※上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

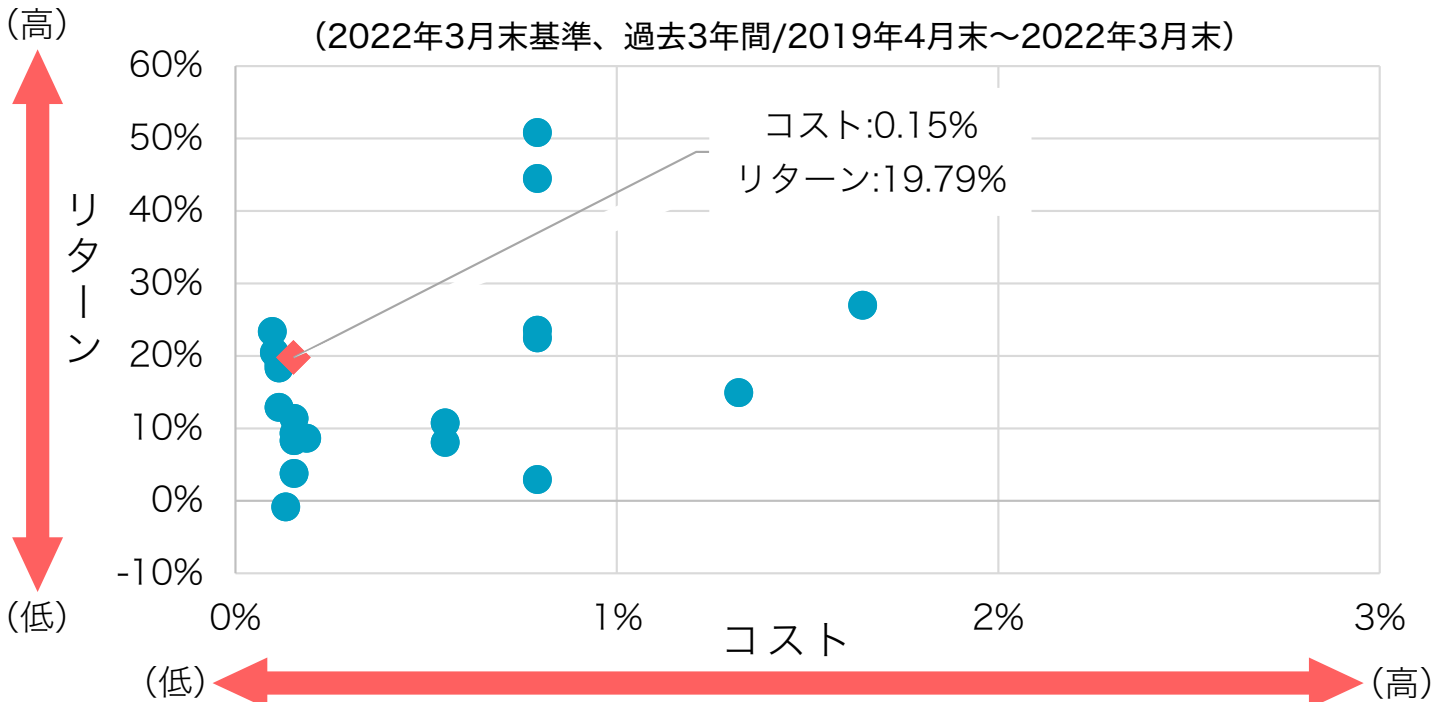
## ■ 投資信託の預り残高上位銘柄の過去3年間のコスト・リターン

\*当サービスの提供開始（2019年3月1日）から経過年数が3年以上4年未満のため、該当データにおいては設定後3年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄ごとおよび預り資産残高加重平均の過去3年の年平均コスト、リターンで算出したものを公表しています。

信託報酬率等のコストに見合ったリターンを獲得できているか傾向をみる指標です。

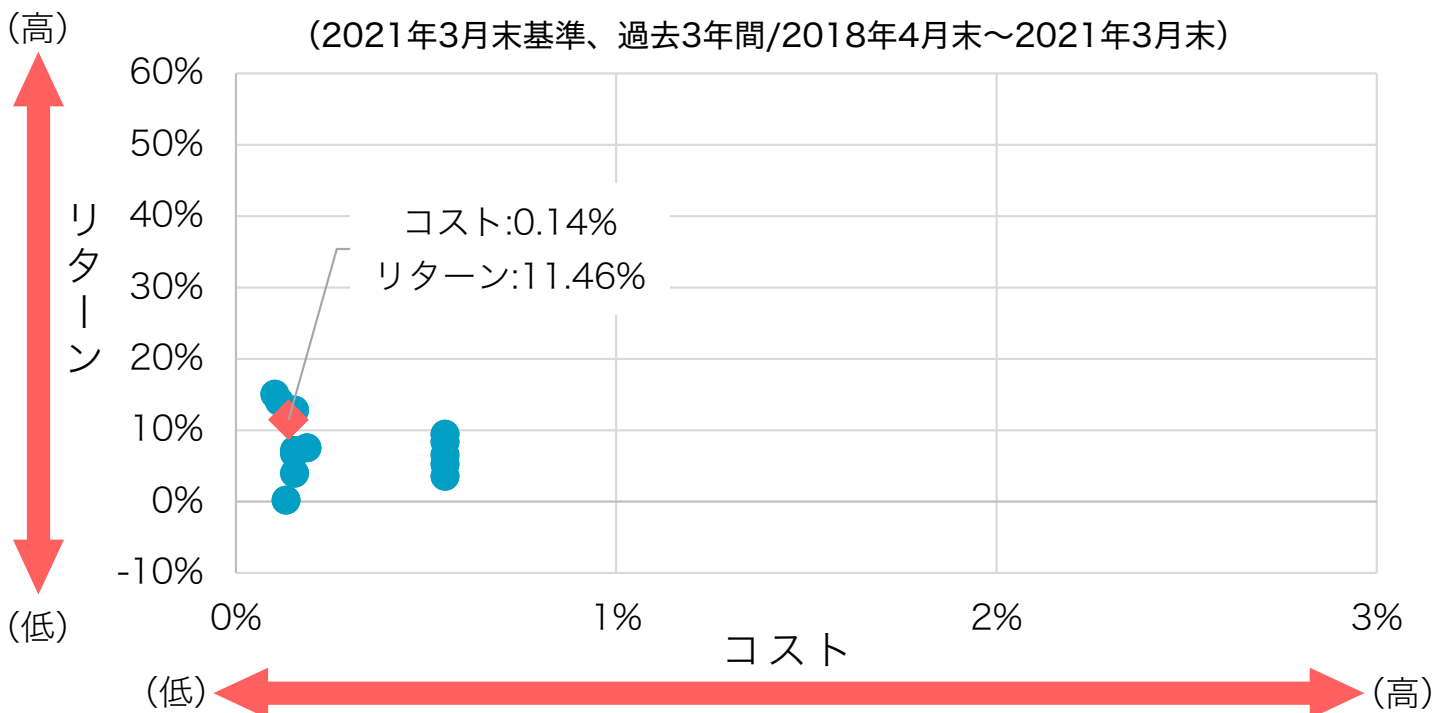
2021年度の預り残高上位20銘柄の資産残高加重平均値は、コストは0.15%、リターンは19.79%となりました。

2021年度 預り残高上位20銘柄のコスト・リターン  
(2022年3月末基準、過去3年間/2019年4月末～2022年3月末)



(ご参考) 2020年度 預り残高上位13銘柄のコスト・リターン

(2021年3月末基準、過去3年間/2018年4月末～2021年3月末)



※リターンは過去3年間のトータルリターン（年率換算）。リターン算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引き前）の基準価額。全ファンド基準日時点での分配金の支払い実績はありません。

※コストは、信託報酬（年率）のみ。信託報酬（年率）は目論見書上の実質的な信託報酬率の上限。mattocoでは、全ファンド販売手数料はございません。

※◆マークは、各年度対象の銘柄の加重平均値を算出。※設定後3年が経過した銘柄にて算出（2020年度は13銘柄）。

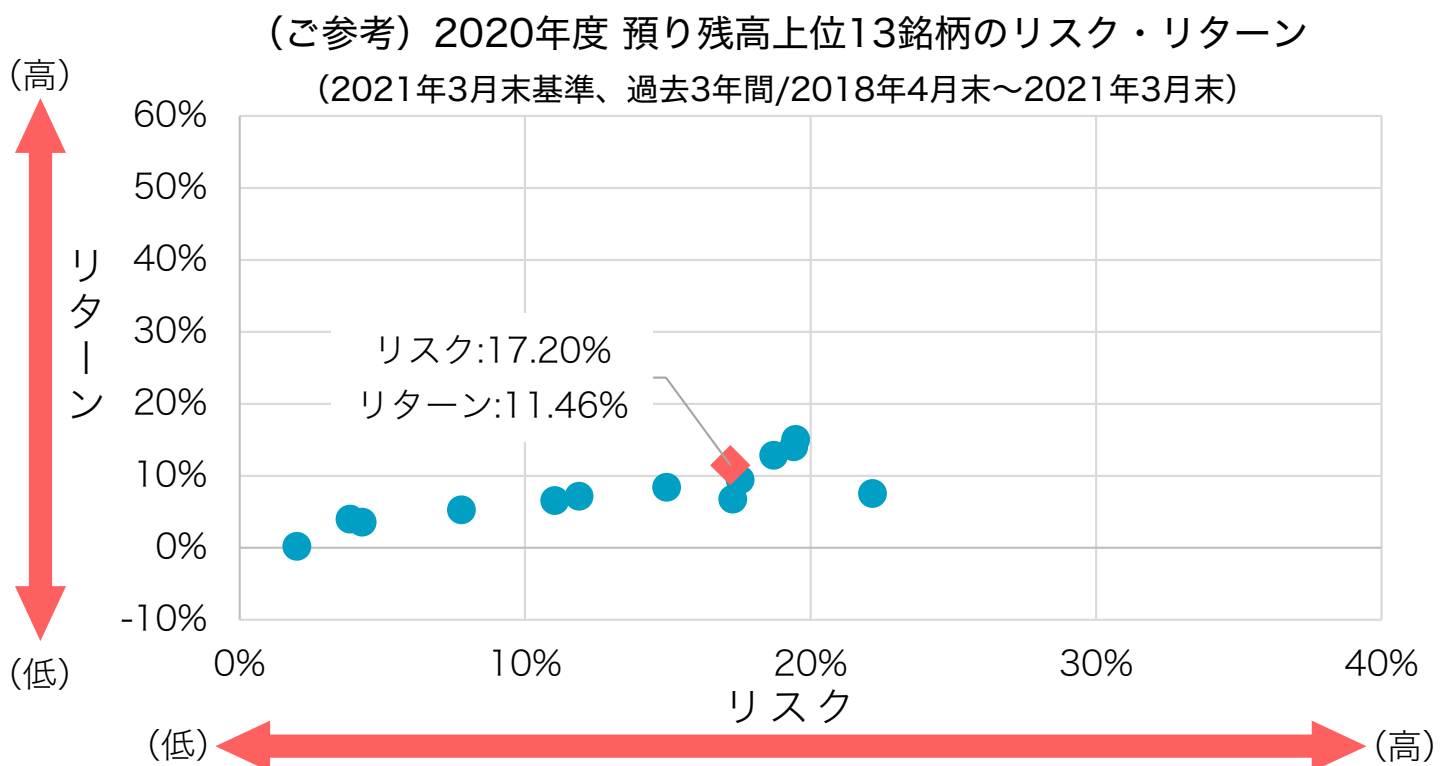
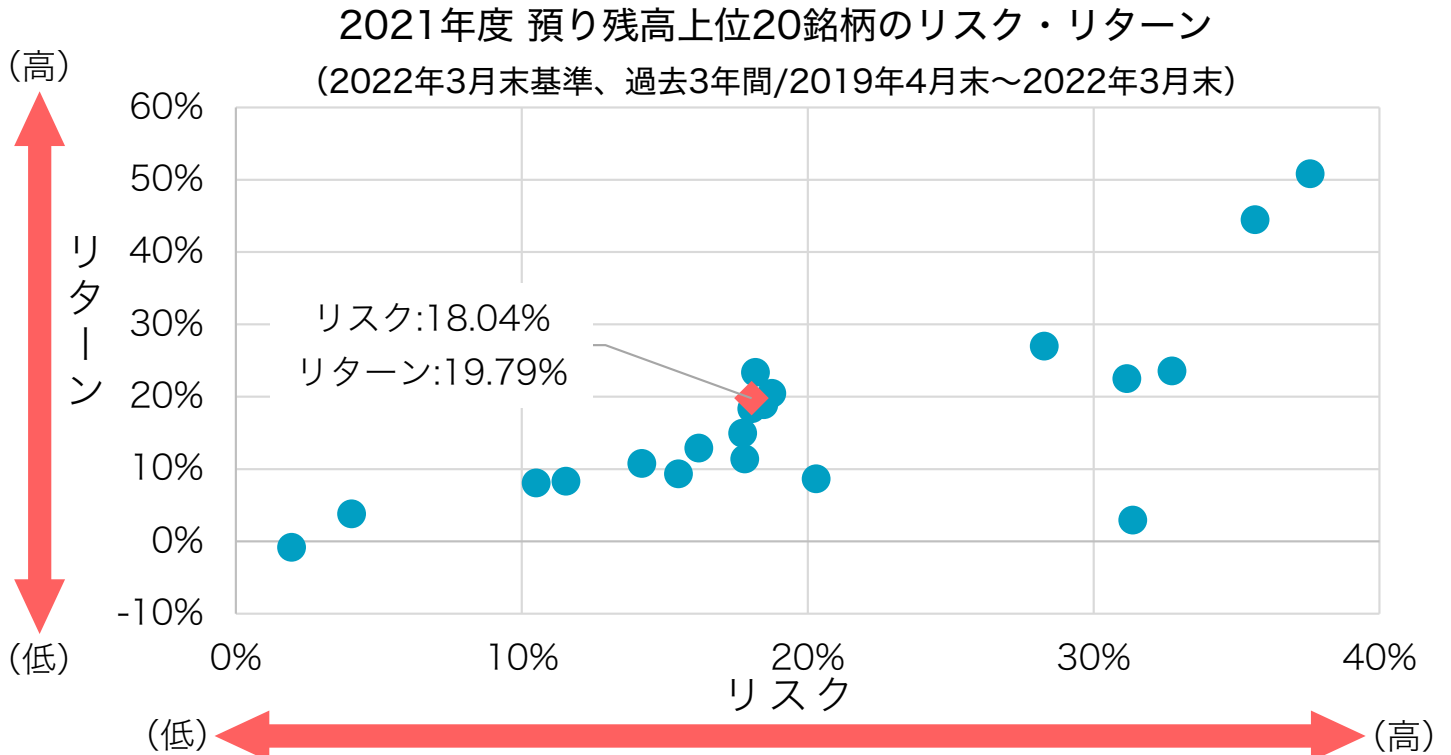
※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。※上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## ■ 投資信託の預り残高上位銘柄の過去3年間のリスク・リターン

\*当サービスの提供開始（2019年3月1日）から経過年数が3年以上4年未満のため、該当データにおいては設定後3年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄ごとおよび預り資産残高加重平均の過去3年の年平均リスク、リターンで算出したものを公表しています。

リスクに見合ったリターンが獲得できているかをみる指標です。

2021年度預り残高上位20銘柄の資産残高加重平均値は、リスクは18.04%、リターンは19.79%となりました。



※リターンは過去3年間のトータルリターン（年率換算）、リスクは過去3年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）。リターン、リスク算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引き前）の基準価額。全ファンド基準日時点での分配金の支払い実績はありません。

※◆マークは、各年度対象の銘柄の加重平均値を算出。※設定後3年が経過した銘柄にて算出（2020年度は13銘柄）。※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。※上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## ■ 投資信託預り残高上位20銘柄の一覧

(2022年3月末時点)

	銘柄名
1	eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)
2	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス
3	eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー)
4	eMAXIS Slim 全世界株式 (除く日本)
5	eMAXIS Slim バランス (8資産均等型)
6	eMAXIS Slim 国内株式 (日経平均)
7	eMAXIS Slim 新興国株式インデックス
8	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス
9	eMAXIS Slim 国内株式 (TOPIX)
10	eMAXIS Neo バーチャルリアリティ
11	eMAXIS Neo 自動運転
12	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (愛称:ロイヤル・マイル)
13	eMAXIS Slim 全世界株式 (3地域均等型)
14	eMAXIS Slim 国内債券インデックス
15	eMAXIS Neo ドローン
16	これぞ、日本株
17	eMAXIS Neo ナノテクノロジー
18	eMAXIS Neo 遺伝子工学
19	eMAXIS 最適化バランス (マイフォワード)
20	eMAXIS 最適化バランス (マイミッドフィルダー)

※設定後3年が経過した銘柄にて算出。

※上記はファンドの優劣を示すものではありません。また、特定のファンドの購入、売却、保有を推奨するものではありません。

## ■ コスト、リターン、リスクに関する注記

コスト：お客さまが負担する費用であり、ここでは目論見書に書かれている実質的な信託報酬率の最大値としています。mattocoでは、全ファンド販売手数料はございません。

リターン：グラフで示している期間において、ファンドを保有し続けた場合に得られる収益のことです（年率換算）。

リスク：リターン（収益）の振れ幅のことを指し、標準偏差と言います。ここでは月次リターンに対する標準偏差（年率換算）で計測しております。リスクの高い投資信託とは、基準価額の変動率が大きい投資信託を指します。

## ■ 投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

■購入時（ファンドによっては換金時）に直接ご負担いただく費用

購入時（換金時）手数料…ありません。

■換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額…上限0.10%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬）…上限 年率1.6445%程度（税抜 年率1.5000%程度）

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

※上場投資信託に投資する投資信託の場合は上場投資信託の費用がかかりますが、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、当該費用は表示しておりません。

その他の費用・手数料…上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJ国際投信ダイレクトでご提供しているすべての公募投資信託において、ご負担いただくそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

## ■ ご留意事項等

<投資をご検討いただくにあたって>

・投資は収益期待がある一方で、値下がり・元本割れの可能性もあり、その損益はすべてお客さまに帰属します。したがって、お客さまの状況等によっては、資金使途に照らして必ずしも投資が適した選択肢となるわけではない点にご留意ください。

・投資はお客さま自身の判断と責任で行っていただく必要があります。投資知識や投資対象商品への理解に不安がある場合は投資をお控えください。また、投資の判断の基礎となる投資方針については、一般的に、資金使途や投資期間、経済状況やリスク許容度等を総合的に勘案した上で、適宜見直しを行うことが望ましいとされています。

■mattocoとは、三菱UFJ国際投信（以下、当社）が提供する、①「三菱UFJ国際投信ダイレクト」（インターネットを通じ、当社で口座開設や投資信託の購入・換金を行うことのできるサービス）および②当社を通じて投資信託をお取引する際に、参考となる投資関連情報提供等サービスの総称です。

■本資料は、当社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、当社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会